

## グエン・ディン・チュウ盲学校ブラインド・サッカー場開所式挨拶

- 樺沢一郎 日本財団常務理事
  - ファム・スアン・ティエン・ハノイ市教育訓練局次長
  - ファム・ティー・キム・ガー校長はじめ職員及び生徒の皆様
  - 日本政府を代表し、グエン・ディン・チュウ盲学校ブラインド・サッカー場の完成に心よりお祝い申し上げるとともに、日本財団をはじめ本サッカー場の実現に御尽力いただいた全ての関係者に感謝を申し上げます。
  - 日本財団は、世界各国で障害者支援を幅広くに行われています。当地ベトナムでは、1991年に障害者支援を開始され、障害者教育、自立生活センターの設立等の自立支援、リーダー育成など、多岐に亘る支援を実施されてきました。
- また、日本財団は、「2020年東京パラリンピック」のオフィシャルコントリビューターを務める等、障がい者スポーツの普及にも大きな貢献をされています。
- 長期かつ多岐にわたる日本財団の障がい者支援活動に対し、改めて敬意と感謝を申し上げます(拍手)。
- グエン・ディン・チュウ盲学校は、杉良太郎日越・越日特別大使が、1989年以来、30年間に亘り支援を継続されています。本校では、音楽とスポーツ教育にも力を入れておられます。
  - 音楽では、2年前、天皇・皇后両陛下がベトナムを訪問された際、クアン前国家主席主催の晩餐会において、代表の子供たち

が日本の著名なミュージシャン:小室哲哉氏と合同演奏をされました。音楽学校に進学される子供達もいます。

●スポーツでは、ベトナム政府が「国家行動計画」で掲げる「パラリンピック種目に取り組む環境づくりを発展させること」を目指し、課外活動で生徒に人気の高いブラインド・サッカーを取り入れておられます。

●ブラインド・サッカーの記念すべき「第一回アジア選手権」は、2005年ベトナム・ホーチミンで開催されました。その後も、ベトナム代表団のASEANパラゲームズ等の国際大会参加など、その裾野は着実に広がっています。2021年には、ハノイで「ASEANパラゲームズ(ASEAN Para Games)」が開催されます。

●今回の日本財団の支援が、子供たちの健やかな成長に資するとともに、ベトナム・ブラインド・サッカー選手の育成と強化にもつながることを、期待致します。

●最後に、皆様の御健勝、グエン・ディン・チュウ盲学校の一層の発展を祈念して、私の御挨拶とさせていただきます。

シン・チャンタイン・カム・オン。(了)